STIHL BG 56, 66, 86, SH 56, 86

取扱説明書

目次

はじめに	2
使用上の注意および作業方法	2
作業方法	8
ブロワーマシンの組み立て	9
バキューム シュレッダーの組み立て	10
燃料	12
給油	13
エンジンの始動と停止	14
エアーフィルターの掃除	16
キャブレターの調整	17
スパーク プラグ	19
エンジンの動作	20
リワインドスターター	20
機械の保管	21
整備表	22
磨耗の低減と損傷の回避	24
主要構成部品	25
技術仕様	26
整備と修理	27
廃棄	28
CE 適合証明書	28

お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存でおります。

ご使用の製品に関して御質問がおありの際は、お買上げの販売店あるいは直接当社カスタマー サービスにお問い合わせください。

敬具

ニコラス・スチール博士

元の取扱説明書
無塩素漂白紙使用
印刷インクには植物油が使用され、紙はリサイクル可能です。

© ANDREAS STIHL AG & Co. KG, 2014
0458-296-4321-D.VA1.G14.
0000006593_004_J

STIHL®

この取扱説明書は、著作権によって保護されています。全権留保。特に複製、翻訳および電子システムを使用した処理に対して保護されています。

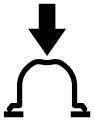
はじめに

シンボル マークについて

機械に表示されているシンボル マークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボル マークが機械に表示されている場合があります。

燃料タンク、ガソリンとエンジン オイルの混合燃料



手動燃料パージャーポンプの操作

段落の前に付いたシンボルや数字

警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

使用上の注意および作業方法

パワー ツールを使用する時は、安全に関する注意事項を守ってください。

初めて使用するときは取扱説明書をよく読んで理解し、必要なときに見られるよう安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を順守しないと生命を脅かすようなケガを負いやすくなります。

現地の安全規制、基準、条例を遵守してください。

この機械で初めて仕事をする人は：STIHL サービス店または経験豊富なユーザーに機械の操作方法を教えてもらうか、その専門的な研修に参加してください。

未成年者は本製品を使用しないでください。

作業場所に見物人、特に子供や動物を近づけないでください。

機械を使用しない時は、他人に危険が及ばない場所に置いてください。無断で使用されないように、安全に保管してください。

他者およびその所有物に対して生じた事故または危険に関しては、その一切の責任をユーザーが負います。

パワーツールを貸したり譲渡したりする場合は、取扱説明書を一緒に手渡してください。お持ちのパワーツールを他の人が使用する場合は、本取扱説明書の内容を理解してもらってください。

騒音を発するパワーツールの使用が、国や地域の規則によって規制されている場合があります。

構成部品のどれかが損傷している場合、機械を使用しないでください。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

アクセサリーおよびスペア パーツ

当社が本パワーツールへの使用を明確に承認した、または同等の仕様に基づいた部品およびアクセサリーだけを使用してください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。高品質の部品およびアクセサリーのみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社では STIHL 純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

人身への傷害の危険性を増加させることがあるので、いかなる方法でも機械を改造しようとしないでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては当社は一切保証を行いません。

身体的条件

機械で作業する人は、十分に休息をとり、身体的· 精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、パワーツールの使用前にかかりつけの医師に相談してください。

ペースメーカーを付けている方にのみ該当する注意点：本パワーツールのイグニッション システムは、微量の電磁界を発生します。この電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。健康上のリスクを軽減するため、ペースメーカーを装着された方は、使用前に掛かりつけの医師またはペースメーカーの製造元に、お問い合せください。

アルコールや薬品などを服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。視力が低下し、動作や判断が鈍くなる可能性があります。

用途

ブロワーマシンは、庭、スポーツ用スタジアム、駐車場、道路などに散在する葉、草、紙などの異物の噴気による掃除用に設計されています。森林の小道の掃除にも適しています。

バキューム シュレッダーは、乾燥した葉っぱなど軽量で、固定されていない、不燃性素材の収集用に設計されています。

危険な物質を噴気で掃除したり吸い取ったりしないでください。

パワーツールは、これ以外の目的には使用しないでください。事故の発生やパワーツール本体の損傷の危険が増大します。製品にはいかなる改造も加えないでください。事故や製品の損傷の原因となる恐れがあります。

衣服と装備

規定に沿った服装と装備を身に付けること。

衣服は、作業しやすく作業の妨げにならないことが必要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたオーバーオールと上着を組み合わせた安全作業服を、着用してください。

襟巻き、ネクタイ、装身具など、空気吸引部に入り込むようなものは、身につけないでください。長い髪は後ろで束ね、引っかからないようにしてください (ヘアネット、帽子、ヘルメットに押し込むなど)。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。

安全眼鏡、および防音用耳栓などのイヤープロテクターを着用してください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

機械の運搬

必ずエンジンを停止してください。

乗り物での運搬 :

– パワーツールが倒れたり、燃料が流れ出たり、破損しないように、固定してください。

給油

ガソリンは非常に簡単に着火します。火気を避けてください。燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

給油前に**エンジンを停止**してください。

エンジンがまだ熱いうちは給油しないでください。**燃料が流れ出て火災を起こす危険があります。**

燃料キャップは、燃料が吹き出さずに圧力がゆっくりと抜けるようゆっくり開けてください。

給油は風通しの良い場所で行ってください。燃料が本機にこぼれた場合は必ず拭き取ってください - 衣服に付いた場合は直ちに着替えてください。

漏れがないか点検します。**火傷による命の危険**を防止するため、漏れが修復されるまでエンジンを始動および作動しないでください。

給油の後は、スクリュー式燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

これにより、エンジンの振動によって燃料タンクキャップが緩んで燃料が漏れる危険を低減できます。

始動前

パワー ツールが正しく組み立てられ、良好な状態になっているかチェックします - 本取扱説明書の関連項目を参照してください。

– 燃料システムに漏れがないか点検します。特にタンク キャップ、ホース接続部や手動燃料ポンプ (機械に取り付けられている) などの、目に見える部品を特に注意深く点検します。漏れや損傷がある場合は、エンジンを始動しないでください - **火災の危険性があります。**再度使用する前に、機械の修理をサービス店に依頼してください

– スロットル トリガーがスムーズに作動して、放すとアイドリング位置に戻らなければなりません。

– 調整レバーやスイッチは、容易に **STOP** または **0** に移動できなければなりません。

– パワーツールを安全に操作するため、ハンドルは乾いた清潔な (オイルや汚れのない) 状態に保ちます。

– ブロワー チューブは、正しく取り付ける必要があります。

– スパーク プラグ ターミナルがしっかりと差し込まれているかチェックします - 緩んでいる場合は火花が発生することがあり、可燃性のガスに**引火する**可能性があります。

– ブロワー ホイールおよびブロワー ハウジングの状態を確認します (「ブロワー / バキューム アタッチメントの使用」の項を参照)。

ブロワー ハウジングの磨耗 (亀裂、傷、切り欠き) は、異物が飛散してケガする原因になることがあります。ブロワー ハウジングが損傷したら、最寄りの販売店にご相談ください - 当社は、スチール サービス店にお問い合わせいただくことを、お勧めいたします。

操作部と安全装置に改造を加えないでください。

事故の危険を低減するため、正しく取り付けられていない機械や良好な状態でない機械は使用しないでください。

エンジンの始動

給油した場所から少なくとも 3 m 離れて始動します。戸外に限ります。

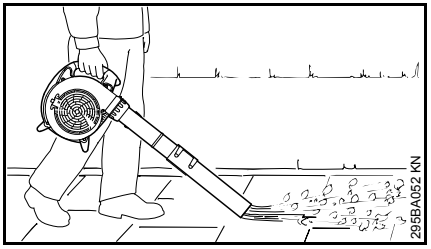
本パワーツールは、一人で操作するように設計されています。作業場所には、始動時であっても第三者を入れないでください。

エンジンの落としがけをしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。

パワーツールを平坦な地面に置き、足場が安定していることを確認し、パワーツールをしっかりと保持します。

エンジンが始動するとすぐに、ブロワー マシンの開口部から細かい異物 (石など) が操作者の方向に吹き付けられることがあります。

ブロワー マシンの使用



ブロワー マシンは片手で操作する機械です。右手でコントロール ハンドルを握って運びます。

必ずパワーツールを手でしっかり保持します。

作業時はゆっくりと前進して、常にノズル吐出口に注意を払い、後ずさりしないようにします - **つまずく恐れがあります。**

警告

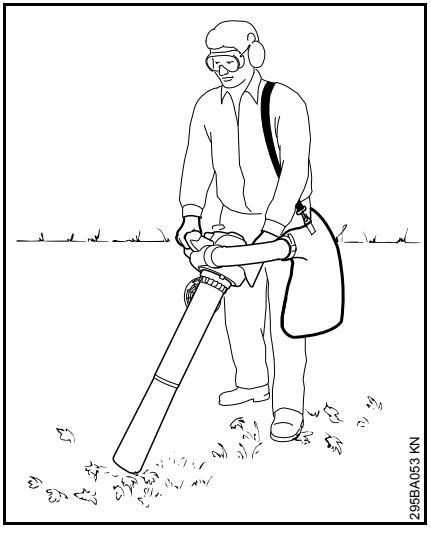
ケガの危険を低減するために、ブロワー チューブを適切に取り付けた状態でのみ、本機を使用してください。

ラウンド ノズルは、草地や芝生など凹凸のある場所の作業に適しています。

ファンノズル (パワーツールに付属または特殊アクセサリーとして供給) は、地面レベルに広範囲で強力なエアーフローを形成します。確実でコントロールされた作業が可能です。このノズルは鋸屑、落ち葉、枝木などが散らばった平坦地面の清掃に特に適しています。

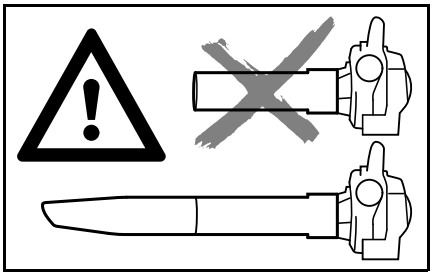
バキューム アタッチメントの使用

取り付け方法の詳細については、本取扱説明書の関連する章を参照してください。



バキューム シュレッダーは両手で使用する機械です。右手でコントロール ハンドルを、左手でアシスト ハンドルを握って操作します。

集塵バッグ用肩掛けベルトを、胸の前を通さずに、左肩にかけます。このようにすれば、緊急時にパワーツールと集塵バックを素早く取り外せます。



ケガの危険を低減するため、パワーツールは、吸引チューブを適切に取り付け、集塵バッグを閉じて作動させてください。

注記

研削性の物体 (砂利や石片など) を吸入すると、ブロワー ホイールやブロワー ハウジングの磨耗が早まり、このため、吸入性能が著しく低下します。この場合は、STIHL 販売店にお問い合せください。スチールではスチール サービス店をお勧めします。

湿った落ち葉を吸入すると、ブロワー ホイールや エルボーが詰まることがあるため、特に注意してください。

火気によるケガの危険があります。くすぶって燃えている灰やたばこの吸殻など、高温で燃えている物を吸引しようとしないでください。

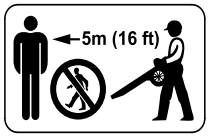
火気や爆発による**命に関わる傷害の危険があります。**ガソリンなどの引火性液体や引火性液体を含んだ物を、吸引しようとしないでください。

インテーク スクリーンを開く前にエンジンを停止します。吸引チューブを装着していない場合は、回転する構成部品に触れてケガしないように、インテーク スクリーンは必ず閉じて、固定します。そうしないと、エンジンを破損することもあります。

作業中

差し迫った危険や緊急の場合、調整レバーやスイッチを STOP または 0 に動かして、速やかにエンジンを停止します。

本パワーツールは、一人で操作するように設計されています。作業場所に第三者が入らないようにしてください。



飛散物によってケガをする危険性を避けるために、作業範囲半径 5 m 以内には第三者を入れないでください。

また、**所有物を破損する危険を低減するため**、他の機材 (車両、窓など) からも上記の距離を保ってください。

決してブロワーの吹き出し口を人や動物に向けないで下さい。ブロワーから小さな物体が高速で飛散する危険性があります。

ブロワーによる掃除やバキューム作業 (野原や庭) 時には、小動物に注意して、傷つけることがないようにします。

本機を作動させたまま、本機から離れないでください。

滑りやすい場所、傾斜のある場所、または凸凹のある地面では特に注意してください。

障害物に注意 : 遺棄物、木の切り株、根、溝など、**つまずきそうな障害物**に注意してください。

はしごに乗ったりその他の不安定な足場で作業しないでください。

イヤー プロテクターをつけている場合は、より大きな注意力が必要です。危険を告げる音、叫び声、警笛などが聞こえにくくなるからです。

日中で十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないよう作業します。

事故が発生しやすくなりますので、疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください。

触媒コンバータ付きマフラーは特に高温になりがちです。

エンジン運転中は機械から**有毒な排気ガス**が出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあり、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

毒性ガスを吸い込むことによる重大なケガや致命的なケガのリスクを低減するため、溝、くぼ地、あるいは狭い場所で作業する時には適切な換気を確保してください。

事故の発生を防ぐために、気分が悪い、頭痛、視覚障害 (視野狭窄など)、聴覚障害、めまい、注意散漫などの状態になった場合は、作業を即座に中止してください。他の可能性は別として、これらの症状は、作業場に過度に高濃度の排気ガスが存在する場合に、発生することがあります。

火災の危険性があるため、作業中および機械の近くでは喫煙を避けてください。燃料システムから、発火しやすいガソリン蒸気が漏れている恐れがあることにご注意ください。

塵埃の発生量が非常に多い場合、防塵マスクを必ず着用してください。

機械は最小限の音と排気ガスが出るように操作してください - 不必要にエンジンを始動せず、作業時のみエンジンを加速します。

作業が完了したら、本機を平らで燃えづらい地表に置きます。**火災の危険性を低減するために**、非常に燃えやすい物質 (木片、木皮、乾燥した草、燃料など) の近くに置かないでください。

インテーク スクリーンまたはノズルからブロワー ハウジングに、絶対に物体を挿入しようとしないでください。ブロワー によって高速で排出されることがあります - **ケガの危険があります**。

作動動作に目立った変化が認められる場合 (振動が大きくなるなど) は、作業を停止し、問題の原因を是正してください。

パワーツールに強い衝撃が加わったり落下するなど、設計強度を越える異常な負荷がかかった場合は、作業を続ける前にパワーツールが良好な状態にあることを必ず確認してください (「使用前」を参照)。特に燃料システムに漏れがないことを確認し、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷が

ある場合は、作業を続けないでください。不明な場合は、STIHL サービス店にお問い合わせください。

振動

パワーツールを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります (「白ろう病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 常に手を温めておく
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質 (症状：指がよく冷たくなる、しびれ)。
- 低い外気温。
- 掴む力の強さ (強く握りしめると、血行が低下します)。

機械を規則的に長時間使用したり、該当する症状 (指のしびれ等) が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら (指が疼くなど)、医師にご相談ください。

整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して、不明な方はスチール サービス店へお問い合せください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するために、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください**。- 例外：キャブレター及びアイドリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターを作動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する可能性**があります。

火気の近くで、本機を整備したり、保管しないでください。

燃料フィラー キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパーク プラグだけを使用してください (「技術仕様」の項を参照)。

イグニッション ケーブルに異常がないこと (良好な絶縁状態、接続の確実性) を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。

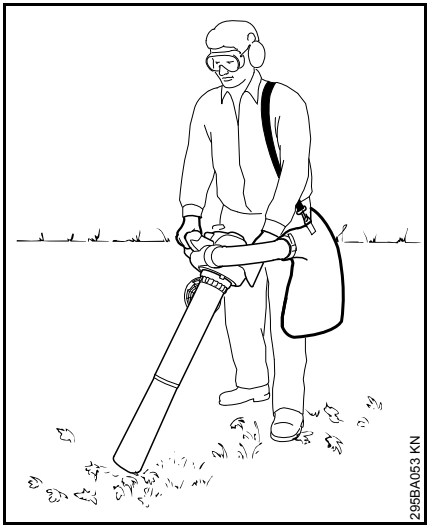
高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

振動の強さは、防振部品の状況に左右されます - 定期的に防振部品を点検してください。

問題を解消しようとする前に、エンジンを停止してください。

作業方法

バキュームシュレッダーの使用



バキューム シュレッダーは両手で使用する機械です。右手でコントロール ハンドルを、左手でアシスト ハンドルを握って操作します。

集塵バッグ用肩掛けベルトを、胸の前を通さずに、左肩にかけます。このようにすれば、緊急時にパワーツールと集塵バックを素早く取り外せます。

警告

本機に吸引チューブと集塵バッグを適正に取り付けたものだけを使用してください。

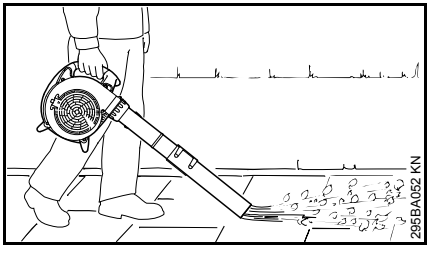
注記

研削性の物体 (砂利や石片など) を吸入すると、ブロワー ホイールやブロワー ハウジングの磨耗が早まり、このため、吸入性能が著しく低下します。この場合は、STIHL 販売店にお問い合せください。STIHL では、STIHL サービス店をお勧めします。

湿った落ち葉を吸入すると、ブロワー ホイールやエルボーが詰まることがあるため、特に注意してください。

野原や庭などでは、小動物に注意してバキュームシュレッダーを使用してください。

ブロワー マシンの使用



ブロワー マシンは片手で操作する機械です。右手でコントロール ハンドルを握って運びます。

警告

本機にブロワー チューブを適正に取り付けたものだけを使用してください。

ラウンド ノズルは、草地や芝生など凹凸のある場所の作業に適しています。

ファンノズル (本体に付属または特殊アクセサリーとして供給) は、地面レベルに広範囲で強力なエアーフローを形成します。確実でコントロールされた作業が可能です。このノズルは、鋸屑、落ち葉、枝木などが散らばった舗装地面の清掃に、特に適しています。

野原や庭などでは、小動物に注意してブロワー マシンを使用してください。

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

空気汚染を最小限に抑えるための推奨作業方法：

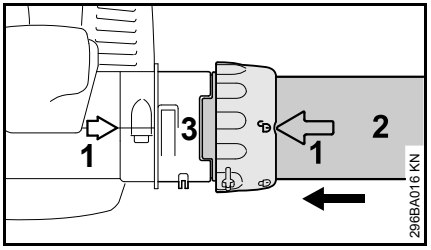
- 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。
- 見物人 (特に子ども)、ペット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます - 隣人の敷地に吹き出したりしないでください。

騒音を最小限に抑えるための推奨作業方法：

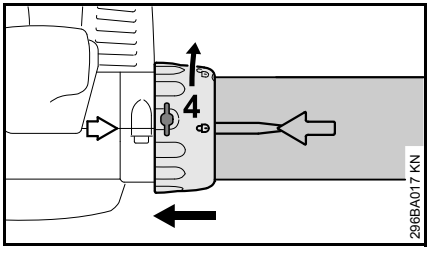
- 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理にかなった時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。
- 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブロワー マシンをご使用ください。
- 作業開始前にお使いのブロワー マシンの状態を点検します。特にマフラー、エアー インテークおよびエアー フィルターに注意してください。

ブロワーマシンの組み立て

ブロワー チューブの取付け

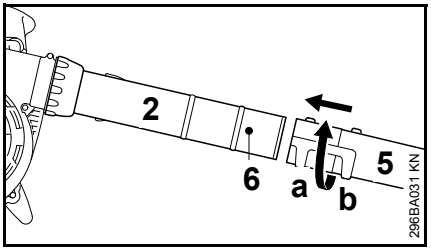


- 矢印 (1) を揃えます。
- ユニオン ナットの位置を、シンボル ✻ が矢印と揃うように合わせます。
- ブロワー チューブ (2) を、ファン ハウジングの根本 (3) に止まるまで押し込みます。



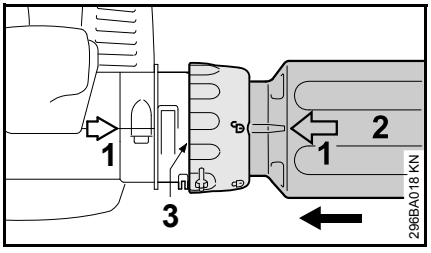
- ユニオン ナット (4) を、ファン ハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ユニオン ナット (4) を、シンボル 🔓 が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオン ナットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。

BG 56、BG 86、SH 56、SH 86

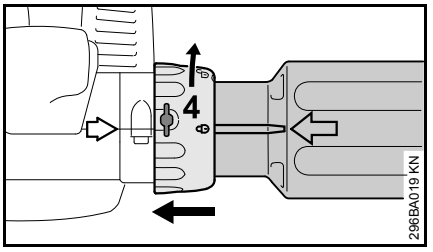


- ノズル (5) をブロワー チューブ (2) の突起 (6) に、位置 (a) (長い場合) または位置 (b) (短い場合) まで押し込み、矢印の方向に回して所定の位置にロックします。

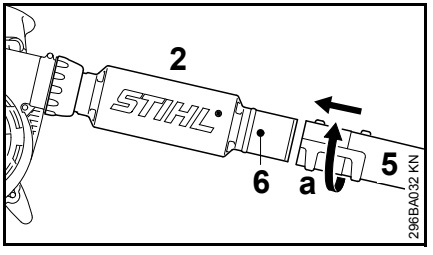
BG 66



- 矢印 (1) を揃えます。
- ユニオン ナットの位置を、シンボル ✻ が矢印と揃うように合わせます。
- ブロワー チューブ (2) を、ファン ハウジングの根本 (3) に止まるまで押し込みます。

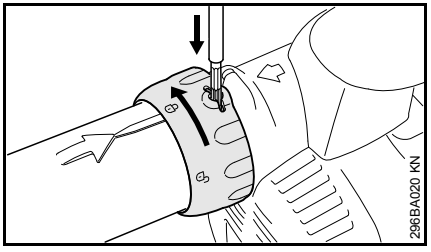


- ユニオン ナット (4) を、ファン ハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ユニオン ナット (4) を、シンボル 🔓 が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオン ナットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。



- ノズル (5) を、ブロワー チューブ (2) の所定の位置 (a) に突起 (6) まで押し込み、矢印の方向に回して所定の位置にロックします。

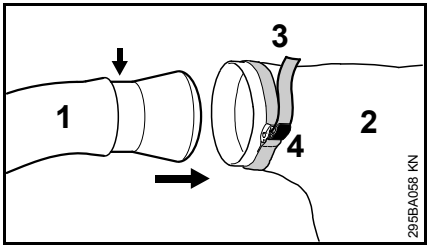
ブロワー チューブの取外し



- エンジンを停止します。
- 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ユニオンナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- ブロワー チューブを取り外します。

バキューム シュレッダーの組み立て

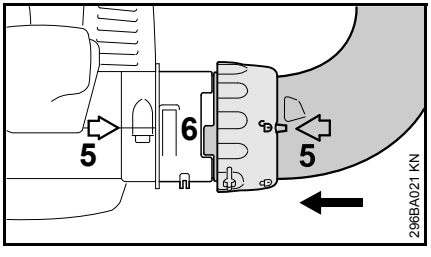
エルボーの取り付け



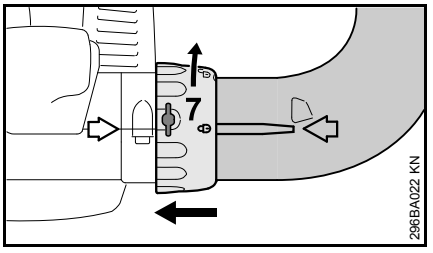
- エルボー (1) を集塵バッグ (2) に、マーク (小さめの矢印) まで押し込みます。
- 集塵バッグのストラップ (3) を締め付け、タブ (4) を押し込みます。

注記

集塵バッグのチャックが閉じていることを確認します。

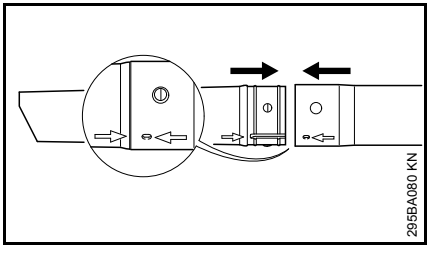


- 矢印 (5) を揃えます。
- ユニオン ナットの位置を、シンボル ＊ が矢印と揃うように合わせます。
- エルボーを、ファン ハウジングの根本の溝 (6) に止まるまで押し込みます。



- ユニオン ナット (7) を、ファン ハウジングの根本に止まるまで押し込みます。
- ユニオン ナット (7) を、シンボル が矢印と揃うまで、矢印の方向に回します - ユニオン ナットは、カチッと音がして所定の位置にはめ込まれます。

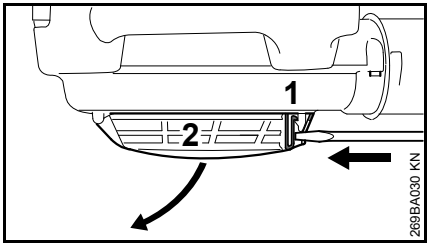
吸引チューブの組立て



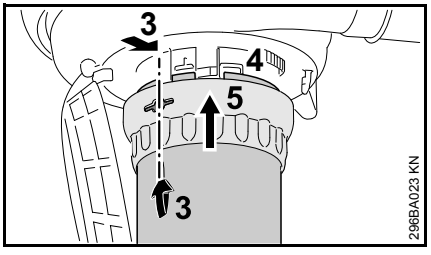
- 吸引チューブと延長チューブの矢印を揃えます。一緒に押し込み、所定の位置で固定します。

吸引チューブの取付け

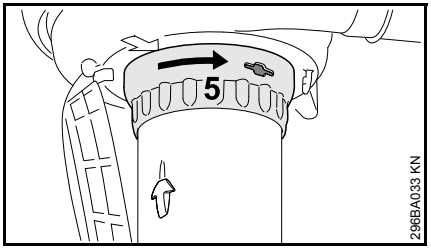
- エンジンを停止します。



- タブ (1) にスクリュードライバーを差し込み、押し下げて、インテーク スクリーン (2) のかみ合わせを外して、インテーク スクリーンを開きます。



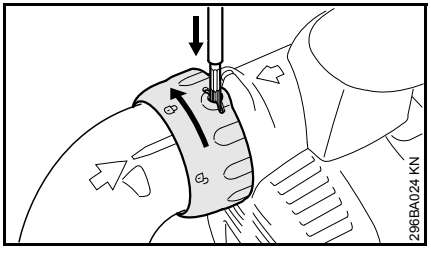
- 矢印 (3) を揃えます。
- ユニオン ナット (5) の位置を、開口部が矢印 (3) に揃うように、合わせます。
- 吸引チューブを、ファン ハウジングの根本 (4) に止まるまで押し込みます。
- ユニオン ナット (5) をファン ハウジングに押し込みます。



- ユニオン ナット (5) を矢印の方向に、カチッと音がして所定の位置にはまるまで、回します。
- ユニオン ナットを矢印の方向に回し続けて、しっかり締め付けます。

エルボーを取り外します。

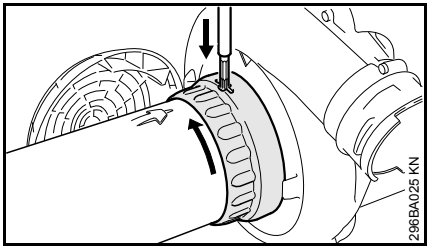
- エンジンを停止します。



- 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ユニオンナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- エルボーを取り外します。

吸引チューブの取り外し

- エンジンを停止します。



- ユニオンナットを、矢印の方向に止まるまで回します。
- 適切なツールをユニオン ナットの開口部に差し込み、タブを押し込みます。
- ユニオンナットを、矢印の方向に次に止まるまで回し続けます。
- 吸引チューブを取り外します。
- インテーク スクリーンを閉じて、所定の位置にロックします。

燃料

エンジンには、ガソリンと 2 サイクル エンジン用オイルの混合燃料が必要です。

警告

健康を害しますので、ガソリンに直接肌を触れたり、ガソリンの蒸気を吸い込まないようにしてください。

STIHL モトミックス (MotoMix)

当社は STIHL モトミックス (MotoMix) のご使用をお勧めします。この既製の混合燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価で常時、適正な混合率を保ち、安心してご使用いただけます。

STIHL モトミックス (MotoMix) は、STIHL HP ウルトラ 2 サイクル エンジン オイルを使用しており、優れたエンジン長寿命が得られます。

STIHL モトミックス (MotoMix) が販売されていない市場もあります。

燃料の混合

注記

規定されている以外の不適切な燃料やオイル、または混合比率を使用されると、エンジンに重大な損傷を生じることがあります。低品質のガソリンあるいはエンジンオイルは、エンジン、オイル シール、燃料ホース、および燃料タンクを損傷することがあります。

ガソリン

無鉛と有鉛にかかわらず、最低オクタン価 90 の高品質**ブランド**のガソリンだけを使用してください。

触媒コンバータを装備した機械には、必ず無鉛ガソリンを使用してください。

注記

鉛含有ガソリンを燃料タンク数回分使用した場合、触媒効果は大幅に低下します。

エタノール濃度が 10% 以上のガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンで、動作上の問題を引き起こすことがあります。そのようなエンジンには使用しないでください。

M トロニック を搭載しているエンジンは、エタノール濃度最大 25% までのガソリン (E25) で動作するときに、最大の出力を発揮します。

エンジン オイル

高品質の 2 サイクル エンジン オイルのみ、できれば、**STIHL HP、HP スーパー、または HP ウルトラ エンジン オイルを使用します。これらは、STIHL エンジン用に特別に設計されています。HP ウルトラは、高い性能と長いエンジン寿命を保証します。**

一部の市場では、これらのエンジン オイルを入手できません。

触媒コンバータを装備した機種で使用する混合燃料には、**STIHL 2 サイクル エンジン オイル 50:1** だけを使用してください。

混合比率

STIHL 50: 1 2 サイクル エンジンオイルの場合：50:1 = ガソリン 50 + オイル 1

例

ガソリン	STIHL 2 サイクルオイル 50:1	
リットル	リットル	(ml)
1	0.02	(20)
5	0.10	(100)
10	0.20	(200)
15	0.30	(300)
20	0.40	(400)
25	0.50	(500)

- 燃料の保管には承認された容器を使用してください。燃料容器に先ずオイル、その後にガソリンを入れて、充分に混ぜ合わせます。

燃料の保管

燃料は、承認された安全タイプの燃料容器に入れて、乾燥した、涼しい、安全な、太陽や照明から保護された場所に保管してください。

混合燃料は時間の経過と共に劣化します - 数週間で使い切る分だけ混合してください。混合燃料を 30 日以上保管しないでください。照明や太陽の直射や過酷な高低温では、混合燃料の劣化が加速されます。

STIHL モトミックスは、問題なく最長 2 年間保管することができます。

- 給油する前に混合燃料の入った携行缶をよく振ってください。

警告

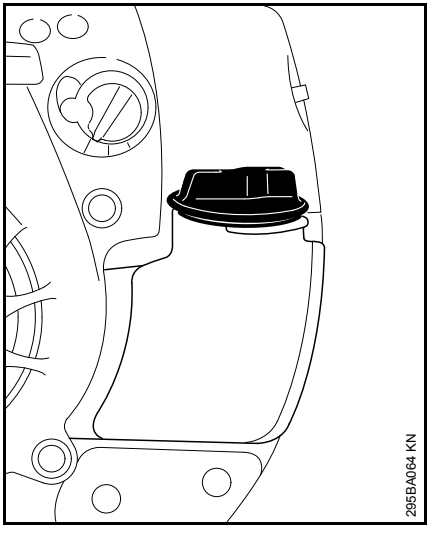
携行缶内で圧力が生じている可能性があるので、慎重に開けてください。

- 燃料タンクと携行缶は、時々十分に洗浄してください。

残ったガソリンと洗浄に使用した液体は、その地域の規定と環境要件に従って適切に処理してください。

給油

準備



- 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィラー キャップとその周りをきれいにしてください。
- フィラー キャップが上を向くようにマシンを置いてください。

当社では給油用にスチール フィラー ノズル（特殊アクセサリー）の使用をお勧めします。

燃料を補填します。

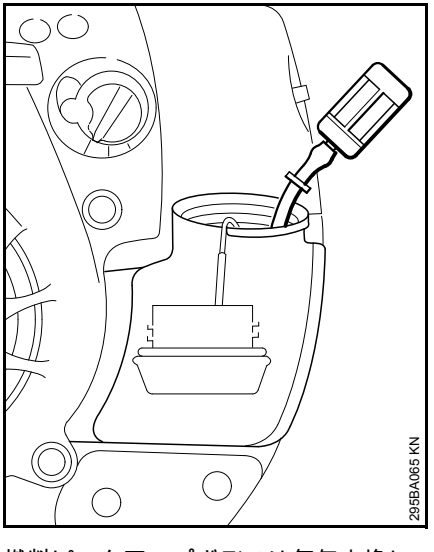
給油の際には燃料をこぼさないようにし、また燃料をタンクからあふれさせないでください。

- フィラー キャップを開きます。
- 燃料を補填します。
- 閉じ方

警告

給油の後は、燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

燃料ピックアップボディの交換



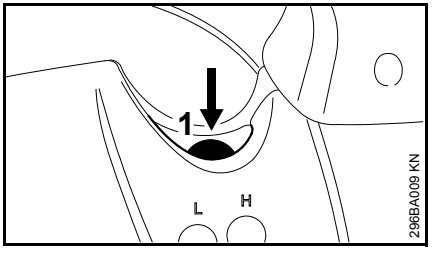
燃料ピックアップボディは毎年交換してください。

- 燃料タンクを空にします。
- 燃料ピックアップボディをフックでタンクから引き出し、ホースから外します。
- 新しいピックアップボディをホースに差し込みます。
- ピックアップボディをタンクの中に戻します。

エンジンの始動と停止

エンジンの始動

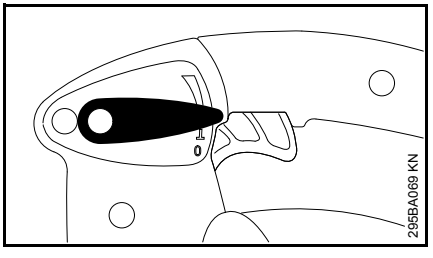
- 安全注意事項を守ってください。



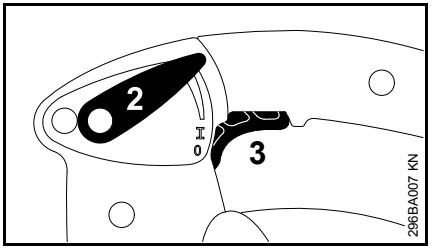
- 手動燃料ポンプ (1) を最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

調整レバーの調整

BG 66 C、BG 86、SH 86 のみ



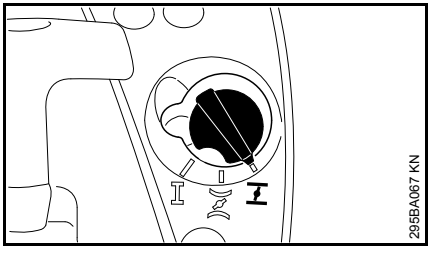
- 始動するには、調整レバーを運転位置 **I** に移動します



調整レバー (2) により、作業中にスロットル トリガー (3) を任意の位置に ロックできます。

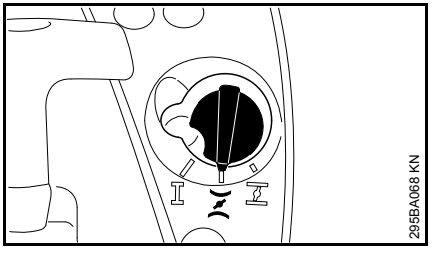
チョークノブの調整

エンジンが冷えている場合



- チョークノブを の位置に動かします

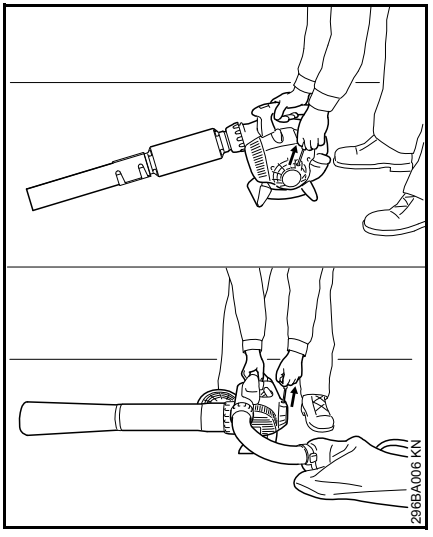
エンジンが暖まっている場合



- チョーク ノブを の位置に動かします

エンジンの始動後、温まりきっていない場合もこの位置に移動します。

始動操作



- 安定するように本機を地面に置きます。
- 安定した足場を保ちます。右手で本機のハウジングをしっかり握り、機械を地面に押しつけます。
- 左手でスターターグリップを握ります。

エルゴスタート付き機種

- スターター グリップを徐々に引きます。

エルゴスタートなしの機種

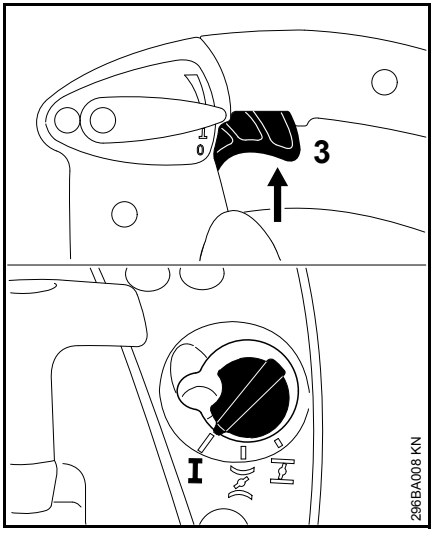
- スターター グリップをゆっくり引き、かみ合った感じがした時に、素早く勢い良くグリップを引っ張ります。

注記

スターター ロープは最後まで引き出さないでください - 切れる恐れがあります。

- スターター グリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むとスターター ロープは正しく巻き込まれます。

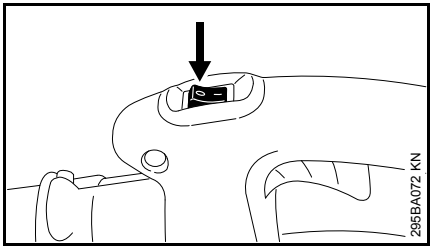
エンジンがかかり次第



- スロットル トリガー (3) を軽く押します - チョーク ノブが運転位置 **I** に移動して、エンジンがアイドリング回転に戻ります。

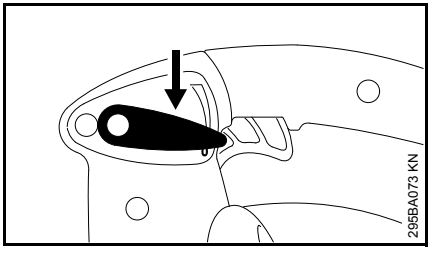
エンジンの停止

BG 56、BG 66、SH 56



- 停止スイッチを **0** に移動します - エンジンが停止して、停止スイッチが 「オン」位置に戻ります。

BG 66 C、BG 86、SH 86



- 調整レバーを **0** に移動します - エンジンが停止して、調整レバーが「オン」位置に戻ります。

始動に関するその他の注意事項

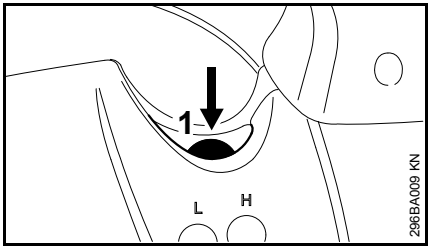
位置 ⁄ でエンジンが停止したり加速が不足する場合

- チョーク ノブを ⁄ に移動して、エンジンがかかるまで始動動作を繰り返します。

エンジンがかからない場合

- 全ての設定が正しいこと (チョークノブ、調整レバーが運転位置 **I** にある) を確認します。
- 始動手順を繰り返します。

燃料タンクが空になるまで運転してから再給油した場合



- 手動燃料ポンプ (1) を最低 5 回押してください - ポンプに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。
- エンジンを再始動します。

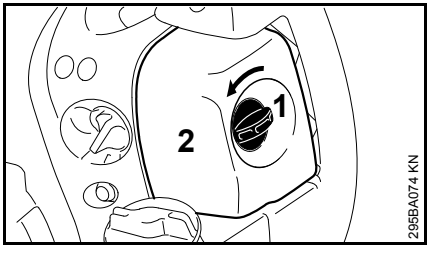
エアーフィルターの掃除

エアー フィルターが汚れるとエンジン出力が低下し、燃焼効率が低下します。また始動が困難になります。

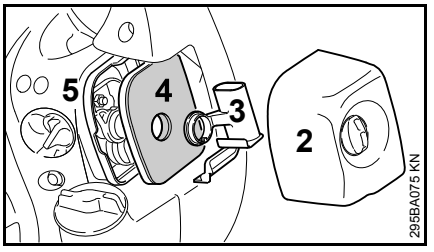
種々のエアー フィルター

機種によりエアー フィルターが異なることがあります。機種は、フィルターハウジングおよびエアー フィルター自体によって識別することができます。

フラット フィルター素材を使用する機種



- フィルター カバー ロック (1) を、垂直位置まで反時計回りに回します。
- フィルター カバー (2) を取り外します。
- フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



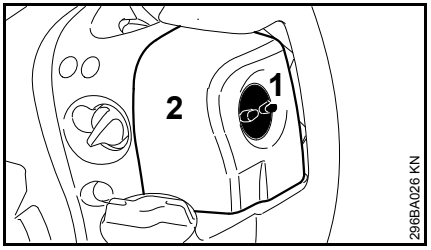
- リテイナー (3) を抜いて、エアー フィルター エレメント (4) をフィルター ハウジング (5) から取り外します。
- フィルター エレメントを交換します。フィルターを手のひらでたたくか、コンプレッサーの空気を吹き付けるなど、一時的に対処することもできますが、水洗いしないでください。

損傷した部品は交換してください。

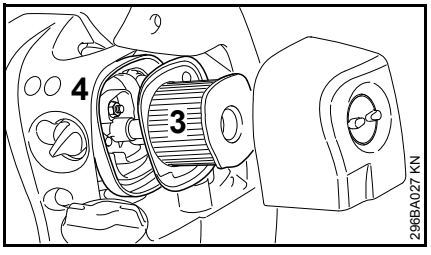
フィルター エレメントの取り付け

- フィルター (4) をフィルター ハウジング (5) に取り付け、リテイナー (3) を所定の位置に押し込みます。
- フィルター カバー (2) を再び取り付け、フィルター カバー ロックを時計回りに水平位置まで回します。

ひだ付きフィルター素材を使用する機種



- フィルター カバー ロック (1) を反時計回りに取り外します。
- フィルター カバー (2) を取り外します。
- フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



- エアー フィルター (3) をフィルター ハウジング (4) から取り外します。

エアー フィルターの掃除

- フィルターを手のひらで慎重にたたくか、フィルターの内側から外側に向かって圧縮空気を吹き付けます。

フィルターにがんこな汚れが付着したりベトベトしている場合は

- エアー フィルターを、スチール特殊洗浄剤 (特殊アクセサリー) またはきれいな不燃性の溶液 (例：ぬるい石けん水) で洗浄します。フィルターを内側から外側に向かって水を噴射してすすぎます - 圧力洗浄機を使用しないでください。
- フィルターを乾燥します - 高温にさらさないでください。

フィルターを所定の位置に置きます。

- フィルター エレメントをフィルター ハウジングに取り付けます。
- フィルター カバーを取り付け、フィルター カバー ロックを時計回りに締め付けます。

キャブレターの調整

基本情報

キャブレターは工場出荷時に標準設定されています。

この設定で、ほとんどの運転状況で最適な混合気が得られます。

準備

- エンジンを停止します。
- エアー フィルターを点検し、必要な場合は掃除あるいは新品と交換します。
- マフラーのスパーク アレスター スクリーン (すべてのモデルには該当しない、国によって異なる) を点検し、必要な場合は掃除あるいは新品と交換します。

異なる標準設定

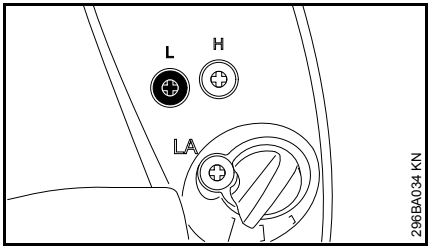
工場で異なるキャブレターが取り付けられます。これらのキャブレターごとに異なる標準設定が必要になります。

標準設定 A

- 高速調整スクリュー (H) = 3/4
- 低速調整スクリュー (L) = 1

標準設定 B

- 高速調整スクリュー (H) = 3/4
- 低速調整スクリュー (L) = 3/4



- 次のようにして、必要な標準設定を決定してください。低速調整スクリュー (L) を時計方向に、止まるまで慎重に回します。その後、反時計回りに戻します。

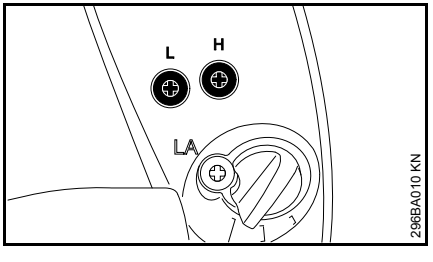
調整幅が 1 回転以上ですか？

- 引き続き **「標準設定 A」**を使用してください

調整幅が 1 回転未満ですか？

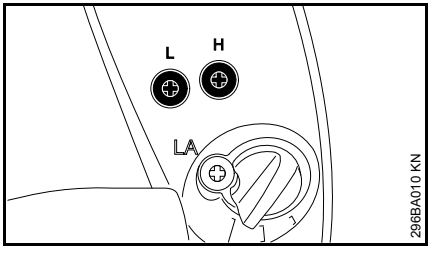
- 引き続き **「標準設定 B」**を使用してください

標準設定 A



- 高速調整スクリュー (H) を反時計方向に止まるまで回します (最高でも 3/4 回転)。
- 低速調整スクリュー (L) を時計方向に、その台座に当るまで慎重に回します。その後、1 回転戻します。

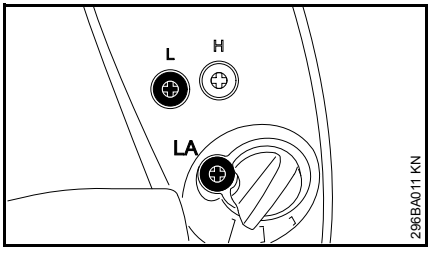
標準設定 B



- 高速調整スクリュー (H) を反時計方向に止まるまで回します (最高でも 3/4 回転)。
- 低速調整スクリュー (L) を時計方向に、止まるまで慎重に回します。その後、3/4 回転戻します。

アイドリング回転の調整

- 標準設定を行います。
- エンジンをかけて暖めます。



アイドリング回転中にエンジンが停止する

- アイドリング スピード調整スクリュー (LA) をエンジンが滑らかに動作するまで時計回りに回します。

低速調整スクリューが標準設定に正しく設定されているにもかかわらずアイドリングが不安定で、加速が不適切な場合は

アイドリング設定が薄すぎます：

- 低速調整スクリュー (L) を、エンジンが作動して滑らかに加速するようになるまで、反時計回りに止まるまでの範囲で回します。

アイドリング回転が不安定で、エンジン回転が低下する

アイドリング設定が濃すぎます：

- 低速調整スクリュー (L) を、エンジンがスムースに作動して滑らかに加速するように、時計回りに (一度に 1/8 回転または 45° ずつ) 回します。

低速調整スクリュー (L) を調整する度に、大抵の場合は、アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を設定変更する必要があります。

高地で作業する場合の微調整

エンジン性能が充分でない場合は、わずかな調整が必要になる場合があります：

- 標準設定を行います。
- エンジンを暖機運転します。
- 高速調整スクリュー (H) を僅かに時計回り (薄くする) に回します - 止まるまでの範囲で回します。

注記

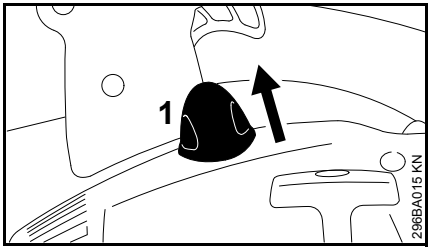
高地から降りてきた後は、キャブレターを標準設定にリセットします。

設定を薄くしすぎると、潤滑オイルの不足と過熱により、エンジンが破損する危険があります。

スパーク プラグ

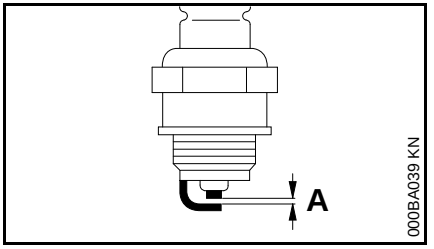
- エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパーク プラグを点検してください。
- 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパーク プラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

スパーク プラグの取り外し



- スパーク プラグ ターミナル (1) を抜き取ります。
- スパーク プラグを緩めます。

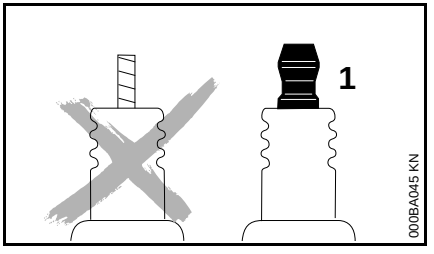
スパーク プラグの点検



- 汚れたスパーク プラグをきれいにします。
- 電極ギャップ (A) を点検して、必要な場合は調整します - 数値は 「技術仕様」の項を参照してください。
- 以下のような、スパーク プラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

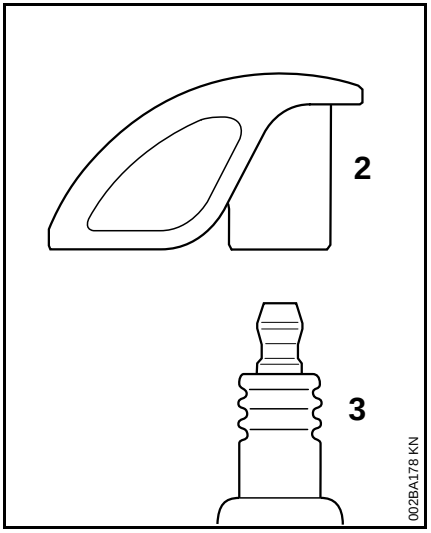
– エンジン オイル混合量の過多
– エアー フィルターの汚れ
– 劣悪な使用環境



警告

スパーク プラグに取外可能なアダプター ナット (1) が同梱されている場合は、**アークの発生や火災の危険**を避けるために、アダプターをねじ山に**しっかり**締付けます。

スパーク プラグを取り付けます



- スパーク プラグ (3) をシリンダーにねじ込み、ターミナル (2) をしっかり押し込んで取り付けます。

エンジンの動作

エアー フィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性があります。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

リワインドスターター

スターターロープの摩耗寿命を延ばすため、次のポイントを守ってください：

- スターターロープは指定された方向にのみ引っ張ってください。
- ロープを、ガイド ブッシュの縁を越えるまで引っ張らないでください。
- 指定されている以上にロープを引き出さないでください。
- スターター グリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込んでください。「エンジンの始動 / 停止」の章を参照してください。

スターター ロープが損傷していたら、完全に破損する前にスチール サービス店に依頼して交換してください。当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

機械の保管

3 ヵ月以上の場合

- 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- 燃料は、地域の環境規制条件通りに処理してください。
- エンジンを運転してキャブレター内の燃料を空にしてください - キャブレターのダイヤフラムの固着を防ぐうえで、有効です。
- 機械を丁寧に掃除します - 特にシリンダー フィンとエアー フィルターに注意します。
- 機械を乾いた、高所または鍵の掛かる場所に保管してください - 子供などによる許可外の使用を避けてください。

整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常にほこりの多い場所など) は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		始動前	作業終了後または毎日点検	燃料給油時	毎週	毎月	12 ヵ月毎	故障の場合	損傷の場合	必要な場合
機械本体	目視検査 (状態、摩耗、漏れ)	x		x						
	掃除		x							
コントロール ハンドル	作動検査	x		x						
エアー フィルター	掃除							x		x
	交換								x	x
手動燃料ポンプ (取り付けられている場合)	点検	x								
	修理は STIHL サービス店に依頼してください [1)]								x	
燃料タンクのフィルター	点検							x		
	フィルターの交換						x		x	x
燃料タンク	掃除							x		x

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常にほこりの多い場所など) は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		始動前	作業終了後または毎日点検	燃料給油時	毎週	毎月	12 ヵ月毎	故障の場合	損傷の場合	必要な場合
キャブレター	アイドリング設定の点検	x		x						
	アイドリング調整									x
スパーク プラグ	電極ギャップの調整							x		
	100 運転時間ごとに交換									
マフラーのスパークアレスタースクリーン [2]	点検							x		
	交換は STIHL サービス店に依頼してください [1]								x	x
冷却風吸入部	掃除									x
すべてのスクリューとナット (調整スクリューを除く)	締め直し									x
防振エレメント	点検	x						x		x
	交換は STIHL サービス店に依頼してください [1]								x	
安全ラベル	交換								x	

1) 当社では、本作業をスチール サービス店で実施されることをお勧めします

2) すべての機種には該当せず、国により異なります

磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、機械の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備並びに保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリーの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

整備作業

「整備表」に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

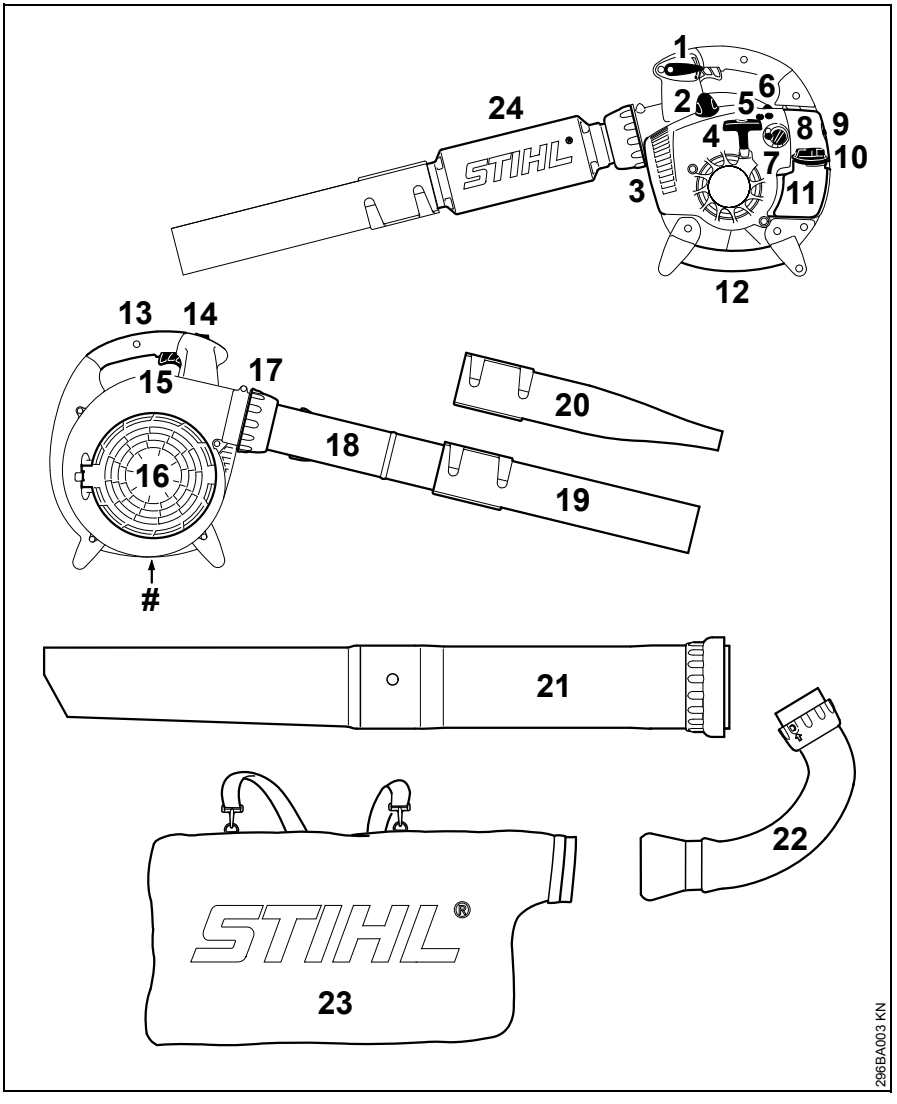
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備 (例：エアー フィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除 (エアー吸入スリット、シリンダー フィン) が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

磨耗部品

パワーツールの部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- フィルター (エアー フィルター、燃料フィルター)
- ブロワー ホイール、シュレッダー ホイール
- 集塵バッグ
- リワインド スターター
- スパーク プラグ

主要構成部品



1 調整レバー (BG 66 C、BG 86、SH 86)
2 スパーク プラグ ターミナル
3 マフラー
4 スターター グリップ
5 キャブレター調整スクリュー
6 手動燃料ポンプ
7 チョーク ノブ
8 フィルター カバー
9 フィルター カバー ロック
10 タンク キャップ
11 燃料タンク
12 ハンドル
13 コントロール ハンドル
14 停止スイッチ (BG 56、BG 66、SH 56)
15 スロットル トリガー
16 保護スクリーン
17 ユニオン ナット
18 ブロワー チューブ (BG 56、BG 86、SH 56)
19 ラウンド ノズル
20 ファン ノズル *
21 吸引チューブ *
22 エルボー *
23 集塵バッグ *
24 ブロワー チューブ サイレンサー (BG 66)
機械番号

* バージョンによります - 特殊アクセサリー

技術仕様

エンジン

単気筒 2 サイクルエンジン

排気量：	27.2 cc
シリンダー径：	34 mm
ピストンストローク：	30 mm
アイドリング回転数：	2,500 rpm
ISO 7293 に準拠したエンジン出力：	
BG 56：	0.7 kW (1.0 bhp)
BG 66：	0.6 kW (0.8 bhp)
BG 86：	0.8 kW (1.1 bhp)
SH 56：	0.7 kW (1.0 bhp)
SH 86：	0.8 kW (1.1 bhp)

イグニッション システム

エレクトロニック マグネト イグニッション

スパーク プラグ (抵抗入タイプ) :	NGK CMR 6 H
電極ギャップ :	0.5 mm

燃料システム

燃料ポンプ付き全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量 :

BG 56：	540 cc (0.54 l)
BG 66：	540 cc (0.54 l)
BG 66 C：	440 cc (0.44 l)
BG 86：	440 cc (0.44 l)
SH 56：	540 cc (0.54 l)
SH 86：	440 cc (0.44 l)

最大風量

	ブロワー モード、ノズルなし前	バキューム モード
BG 56：	730 m^3/h	- - -
BG 66：	730 m^3/h	- - -
BG 86：	810 m^3/h	- - -
SH 56：	730 m^3/h	710 m^3/h
SH 86：	810 m^3/h	770 m^3/h

風速

ブロワー モード、ラウンド ノズル装着時

BG 56：	64 m/s
BG 66：	64 m/s
BG 86：	69 m/s
SH 56：	64 m/s
SH 86：	69 m/s

ブロワー モード、ファン ノズル装着時

BG 56：	72 m/s
BG 86：	85 m/s
SH 56：	72 m/s
SH 86：	85 m/s

重量

燃料なし、ブロワーモード

BG 56：	4.1 - 4.2 kg*)
BG 66：	4.4 kg
BG 66 C：	4.7 kg
BG 86：	4.4 - 4.5 kg*)

*) *) 機種によって異なります

燃料なし、バキューム モード

SH 56：	5.2 kg
SH 86：	5.6 kg

音圧・騒音・振動数値

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、www.stihl.com/vib をご覧ください。

DIN EN 15503 に準拠した音圧レベル L_{peq}:

	ブロワー モード	バキューム モード
BG 56：	90 dB(A)	94 dB(A)
BG 66：	86 dB(A)	- - -
BG 86：	90 dB(A)	93 dB(A)
SH 56：	90 dB(A)	94 dB(A)
SH 86：	90 dB(A)	93 dB(A)

DIN EN 15503 による音響出力レベル L_w

	ブロワー モード	バキューム モード
BG 56：	104 dB(A)	105 dB(A)
BG 66：	98 dB(A)	- - -
BG 86：	104 dB(A)	106 dB(A)
SH 56：	104 dB(A)	105 dB(A)
SH 86：	104 dB(A)	106 dB(A)

DIN EN 15503 に準拠した振動加速度 $a_{hv, eq}$

ブロワー モード

	右ハンドル
BG 56：	7.5 m/s^2
BG 66：	7.8 m/s^2
BG 66 C：	2.1 m/s^2
BG 86：	2.5 m/s^2
SH 56：	7.5 m/s^2
SH 86：	2.5 m/s^2

バキューム モード

	左ハンドル	右ハンドル
BG 56：	8.5 m/s^2	7.5 m/s^2
BG 86：	2.5 m/s^2	1.9 m/s^2
SH 56：	8.5 m/s^2	7.5 m/s^2
SH 86：	2.5 m/s^2	1.9 m/s^2

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルついて 2.5 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s^2 です。

REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No. 1907/2006 の遵守の詳細については www.stihl.com/reach をご覧ください。

整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

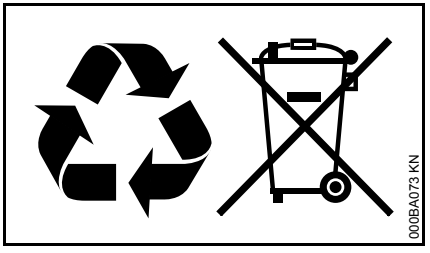
修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、STIHL®ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク GI® が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

廃棄

国別の廃棄の規則および規制を順守してください。



スチール製品は、家庭用ごみ入れに廃棄しないでください。製品、アクセサリー、包装は、環境に配慮してリサイクルを行うため、認可された廃棄場に持ち込んでください。

廃棄物処理の最新情報については、スチール サービス店へお問い合わせください。

CE 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

は、下記の製品が

製品名：	ブロワー、バキューム シュレッダー
メーカー名：	STIHL
型式：	BG 56 BG 56 C BG 56 C-E BG 66 BG 66 C BG 66 C-E BG 86 BG 86 C BG 86 C-E SH 56 SH 56 C SH 56 C-E SH 86 SH 86 C SH 86 C-E
シリーズ番号：	4241
排気量：	27.2 cc

指令 2006/42/EC、2004/108/EC、および 2000/14/EC の仕様に適合しており、次の規格に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100、EN 15503、
EN 55012、EN 61000-6-1

音響出力レベルは、測定値並びに確保数値共に、2000/14/EC の補遺条項 V 規定に準拠した ISO 11094 に基づいています。

音響出力レベル測定値

すべての BG 56：	102 dB(A)
すべての BG 66：	99 dB(A)
すべての BG 86：	102 dB(A)
すべての SH 56：	103 dB(A)
すべての SH 86：	103 dB(A)

確保される音響出力レベル

すべての BG 56：	104 dB(A)
すべての BG 66：	101 dB(A)
すべての BG 86：	104 dB(A)
すべての SH 56：	105 dB(A)
すべての SH 86：	105 dB(A)

技術資料の保管場所：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年および機械番号は、機械に表示されています。

01.07.2014、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Thomas Elsner

製品管理グループ 部長

CE

0458-296-4321-D

japanisch

(J)

www.stihl.com

0458-296-4321-D